

入間川における気泡について（第3報）

令和5年11月2日の地盤補修工事の改良体造成作業中に、調布市東つつじヶ丘2丁目付近の入間川において気泡が発生していることを確認し、造成作業終了後には気泡の発生が止まっている事を確認しました。

この度、周辺環境への影響を確認するため、下記のとおり、①変状調査、②気体調査、及び③水質調査を実施します。なお、調査に際し、一時的に地盤改良体の削孔作業・造成作業を行います。

また、調査結果については、あらためてお知らせいたします。

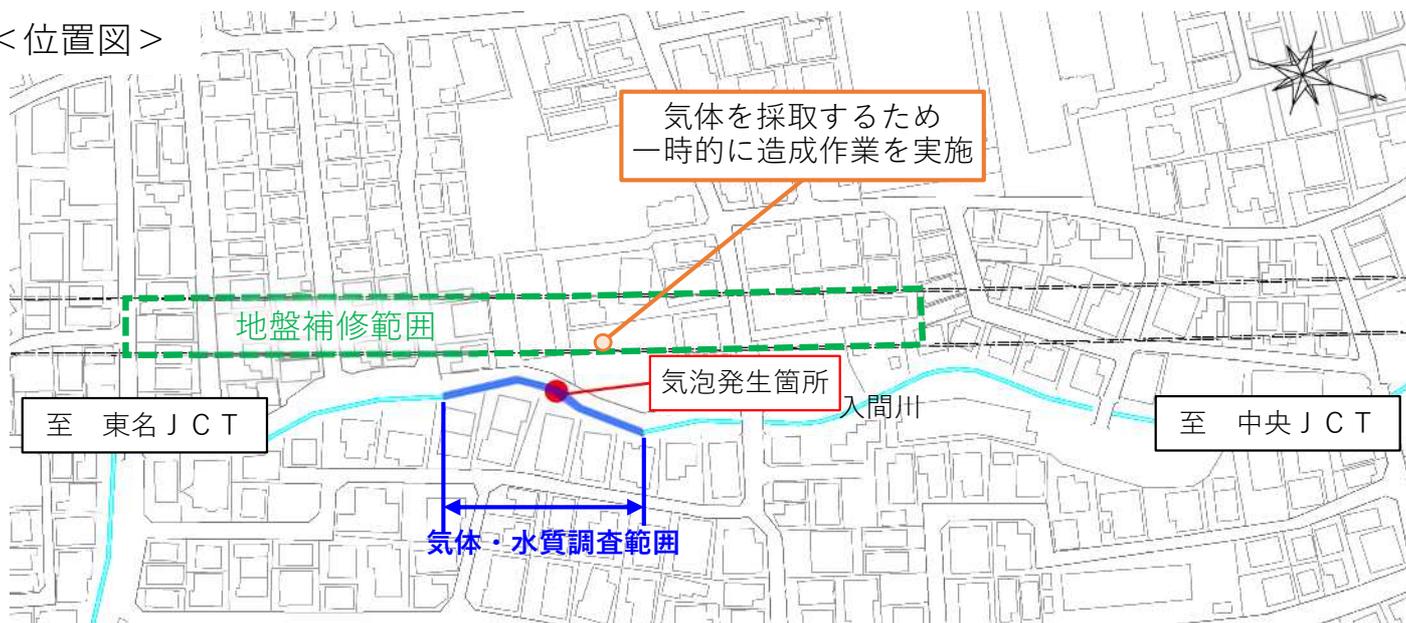
<調査内容>

- ① 変状調査：周辺の点検及び測量を実施します。
- ② 気体調査：入間川から発生した気体を採取し、酸素濃度及び発生量を調査します。
- ③ 水質調査：セメントスラリーや排泥の入間川への漏出有無を確認するため、水素イオン濃度（pH）、六価クロム含有量及び浮遊物質量を調査します。

<調査期間>

- ・現地調査：令和5年12月4日から概ね1週間程度（平日8：00～17：00）
天候等により変更になる場合があります。

<位置図>



※第2報以降、位置図を正確な内容に修正しております。

<調査状況のイメージ>



①変状調査（測量）



②気体調査（採取状況）



③水質調査（採取状況）